

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

① 事務事業名		放課後児童健全育成事業				
担当課・係名		保健福祉課 子育て支援室				
予算科目	会計区分	一般会計	基本計画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
	款	03 民生費		中分類	02 少子化社会への対応の充実	
	項	02 児童福祉費		小分類	02 保育事業の充実（重）	
	目	09 放課後児童健全育成事業費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>		
② 事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）		21,506	21,166	21,350	21,137	21,217
財源内訳	国県支出金	3,360	3,360	3,740	3,740	3,750
	その他特定財源	3,300	3,377	3,000	3,047	3,211
	一般財源	14,846	14,429	14,610	14,350	14,256
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。						
③ 対象（誰、何を対象にするのか）						
<p>・労働などの事情により昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対して、放課後や土曜日、長期休業中に、保護者に代わって保育を行い、その子どもの健全育成を図る。</p>						
④ 目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<p>◆学童保育 就労等により放課後等に保護者が家庭にいない町内の小学校に就学している児童を対象に、学童保育施設において適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的としています。 ・放課後家庭に誰もいない状況になる児童の安全を確保できると共に、保護者の方が安心して就労できる環境を提供しています。</p>						
⑤ 事業概要						
○施設開所日						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日から土曜日</li> <li>・学校の振替休日</li> <li>・学校長期休業日</li> </ul>						
○施設閉所日						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日・祝日</li> <li>・お盆期間（8月13日から8月16日までの間）</li> <li>・年末年始（12月29日から翌年の1月3日までの間）</li> <li>・上記に掲げるもののほか、町長が必要と認めた日             <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 学校行事がある日（運動会・学芸会等）</li> <li>b) 感染症等による学校・学年・学級閉鎖等</li> <li>c) 自然災害等による臨時休業・臨時下校等</li> </ul> </li> </ul>						
○保育時間						
<ul style="list-style-type: none"> <li>d) 月曜日から金曜日（平日） 放課後から18時まで</li> <li>e) 土曜日・振替休業日・長期休業日 7時30分から18時まで</li> <li>f) 延長保育 18時を過ぎてから18時30分まで</li> </ul> <p>保育時間は原則18時までとなっているが、やむを得ない事情等でお迎えに出来ない場合に延長保育を実施しています。</p>						
⑥ 事業を取り巻く状況の変化について						
<p>・平成28年度より色麻町学童保育施設が新たに色麻小学校に隣接した箇所に創立され、管理運営は子育て支援室だが、業務運営については民間委託という形態にした。</p>						
⑦ 根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども子育て支援法</li> <li>・色麻町学童保育施設の設置及び管理運営に関する条例</li> <li>・色麻町学童保育施設施行規則</li> </ul>						
⑧ 事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30	
A	学童利用者数 単位：人	実績値	11,391	12,496	11,444	
		目標値	0	0	0	
定義 延べ人数						
B	単位：	実績値	0	0	0	
		目標値	0	0	0	
定義						
⑨ 事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30	
A	学童利用者数 単位：人	実績値	11,391	12,496	11,444	
		目標値	0	0	0	
定義 延べ人数						
B	単位：	実績値	0	0	0	
		目標値	0	0	0	
定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	夫婦共働き世帯の増加に伴い町民ニーズから必要性は高い。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	利用者数は増加している。 昼間保護者のいない児童の健全育成を図る為、欠かせない事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	委託業者と連携を取り効率良く運営している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	保護者アンケートの結果からみても学童保育の利用に満足しており、目的を概ね達成出来ている。

⑪	課長総括評価 合計点 40 今後の方向性	夫婦共働き世帯の増加により利用児童数は増加している。事業者と連携し児童の健全育成に努め保護者が安心して就労出来るよう事業を行う必要がある。  現状のまま継続
---	----------------------------	--

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		色麻保育所運営事業				
	担当課・係名		色麻保育所				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	03 民生費		中分類	02 少子化社会への対応の充実	
		項	02 児童福祉費		小分類	02 保育事業の充実(重)	
目		05 色麻保育所費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R元予算
	総事業費(千円)		28,295	27,385	31,911	30,548	29,851
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	11,290	1,061	12,013	1,092	9,815
		一般財源	17,005	26,324	19,898	29,456	20,036
※H29・H30予算は最終予算額。H31は9月補正後の額。※決算では人件費を除いています。							
③	対象(誰、何を対象にするのか)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所は、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設である。対象となる乳幼児は、保護者が共働きなどの場合であり、年齢は0歳児から2歳児までとする。</li> </ul>							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育業務の円滑な推進を図り、乳幼児が快適に過ごせるよう良好な保育環境を維持する。</li> <li>・保護者の多様な保育ニーズに対応し、安心して子育てが出来る環境を提供する。</li> <li>・保育所を利用する乳幼児、保護者、職員が安全かつ安心して利用できる施設とする。</li> </ul>							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育業務</li> <li>○内容：乳幼児の保育及び保護者・地域子育て家庭に対する支援を行う。</li> <li>○意図：入所乳幼児の健全な心身の発達、保護者と地域子育て家庭への育児支援。乳幼児に安全な給食を提供するための献立の作成、給食だよりの発行等を行う。保育所運営に関する全般の事務を総合的に行う。</li> </ul>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から子育てを総合的に推進する「子ども・子育て支援新制度」がスタートした。核家族化等により子育て世代の負担感が増加している中、国の対策としては就学前児童の教育・保育や放課後の子どもの生活を支える総合的な仕組みを創設するとしている。</li> </ul>							
⑦	根拠法令等(法律・条例・要綱等)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉法・児童福祉法第24条第1項、児童福祉施設最低基準(昭和23年厚生省令)及び同省令第35条に基づく「保育所保育指針」(厚労省告示)・保育の実施に関する町条例・規則</li> </ul>							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	入所乳幼児数 単位：人	実績値	36	46	42		
		目標値	0	0	0		
定義 目標値乳幼児は、平成28年度から48名の定員となった。							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H27	H28	H29		
A	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	安全で、安心して子育てができる環境を提供するため保育所の果たす役割は大きく、その施設の維持、整備をはかることは町の役割である。また、食をとおして安全、健康管理を図ることは最も必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	ア. 乳幼児期は人間形成に重要な時期であり、保育所の運営は様々な体験を通して望ましい未来を作り出す力の基礎を培うための大事な事業。 イ. 健全な心身の発達を図るために有効な事業。 ウ. 保護者に対し、保育に関する指導や助言など保育支援を行う役割を担っている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	ア. 施設としては、必要最小限の経費で運営している。 イ. 公民館、子育て支援室、幼稚園、清水保育所と連携した行事も実施している。 ウ. 「子育て支援」の経済的支援として、平成23年4月から保育料の軽減を実施。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	3歳児未満の保育所として、環境・遊具の整備をすることにより地域にも浸透してきている。

⑪	課長総括評価 合計点 47	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の就労形態の変化に伴い、乳幼児の保育需要が高まっており、受け入れ体制を充実したことにより待機児童が解消された。</li> <li>保育所の特性や保育士等の専門性を活かし、子供が安心感と信頼感を持って活動運営ができていた。</li> <li>保育士不足により、時間外勤務をせざるを得ない状態にあるため、令和5年開設予定の新施設に向けて今後体制について検討すべきである。</li> </ul>
今後の方向性	改善の上継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性	—	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		清水保育所運営事業				
	担当課・係名		清水保育所				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	03 民生費		中分類	02 少子化社会への対応の充実	
項		02 児童福祉費	小分類		02 保育事業の充実(重)		
	目	06 清水保育所費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費(千円)		25,945	25,543	27,357	26,982	32,583
	財源 内訳	国県支出金	1,100	1,100	1,120	1,120	1,120
		その他特定財源	9,233	987	8,759	977	7,637
		一般財源	15,612	23,456	17,478	24,885	23,826
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。※決算では人件費を除いています。							
③	対象(誰、何を対象にするのか)						
<p>保育所は、保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童施設である。対象となる乳幼児は、保護者が共働きなどの場合であり、0歳児(生後6ヶ月)から2歳児までとする。</p>							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育業務の円滑な推進を図り、乳幼児が快適に過ごせるよう良好な保育環境を維持する。</li> <li>・保護者の多様なニーズに対応し、安心して子育てが出来る環境を提供する。</li> <li>・保育所を利用する乳幼児、保護者、職員が安全かつ安心して利用できる施設とする。</li> </ul>							
⑤	事業概要						
<p>●保育業務</p> <p>○内容：乳幼児の保育及び保護者に対する支援</p> <p>○意図：入所乳幼児の健全な心身の発達、保護者の就労支援。また、乳幼児に安全な給食を提供するため献立の作成、配布。保育所運営に関する全般に事務を効率的に行う。</p> <p>○一時預かり事業</p> <p>対象：保護者の就労、傷病等一時的に家庭保育が困難な乳幼児(週3日間で土曜日を除く：概ね6人/日)</p> <p>利用時間及び利用時間：月曜日から金曜日まで・午前8時30分から午後5時まで</p> <p>但し、土日、祝日及び年末年始を除く</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>平成27年度から子育てを総合的に推進する「子ども・子育て支援制度」がスタートした。核家族化等により子育て世代の負担感が増加している中、国の対策としては就学前児童教育・保育や放課後の子どもの生活を支える総合的な仕組みを創設するとしている。</p>							
⑦	根拠法令等(法律・条例・要綱等)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉法(第24条第1項)、児童福祉施設最低基準(昭和23年厚生省令)及び同省令第35条に基づく「保育所保育指針」(厚生省告示)</li> <li>・保育の実施に関する町条例・規則</li> </ul>							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	年度末児童数	単位：人	実績値	39	35	37	
			目標値	35	35	35	
定義							
B	一時預かり事業利用児数(延べ)	単位：人	実績値	619	610	611	
			目標値	300以上	300以上	300以上	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：人	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

<b>⑩ 目的妥当性の評価</b>	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	安全で、安心して子育てができる環境を提供するため公立保育所の果たす役割は大きく、その施設の維持、整備を行うことは町の役割である。また、食をとおして安全、健康管理を行うことは最も必要である。
<b>有効性の評価</b>	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	ア. 乳幼児期は人間形成に重要な時期であり、保育所の運営は様々な体験を通して望ましい未来を作り出す力の基礎を培うための大事な事業。 イ. 健全な心身の発達を図るため有効な事業。 ウ. 保護者に対し、保育に関する指導や助言など保育支援を行う役割を担っている。
<b>効率性の評価</b>	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	ア. 施設としては、必要最小限の経費で運営している。 イ. 公民館、幼稚園、色麻保育所と連携した行事を実施している。 ウ. 「子育て支援」の経済的支援として、平成23年4月から保育料の軽減を実施。
<b>達成度の評価</b>	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	3歳児未満の保育所として、環境の整備をすることにより地域にも浸透してきている。

<b>⑪</b>	<p>課長総括評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の就労形態の変化に伴い、乳幼児の保育需要が高まっており、受け入れ態勢を充実したことにより待機児童が解消された。</li> <li>・保育所の特性や保育士等の専門性を生かし、子どもが安心感と信頼感を持って活動運営ができていた。</li> <li>・保育所不足により、時間外勤務をせざるを得ない状態にあるため今後検討すべき事項である。</li> </ul> <p>※新施設（認定こども園）に向けて、保育士不足を解消する必要がある</p> <p>合計点 47</p> <p>今後の方向性 <b>改善の上継続</b></p>
----------	---

<b>⑫</b>	<p>二次評価</p> <p>今後の方向性</p>
----------	---------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		管理運営事業（色麻幼稚園）				
	担当課・係名		色麻幼稚園				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	02 少子化社会への対応の充実	
		項	04 幼稚園費		小分類	02 保育事業の充実（重）	
目		01 色麻幼稚園費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		51,037	49,246	53,601	51,780	45,244
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	7,510	974	7,900	1,380	6,762
		一般財源	43,527	48,272	45,701	50,400	38,482
H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額 ※決算では人件費を除いています							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻幼稚園園児						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 幼稚園の管理運営の基本的事項について定め、幼稚園の適正な管理運営を図る。						
⑤	事業概要 園児が安心して園生活を送れるような環境整備をし、適正な管理運営を図る。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について ・保育所と年齢のすみ分けをし、3歳児から受入をするようになってからは、年々、預かり保育を希望する家庭が増え、平成31年度においては100名を超す申請が寄せられた。加えて、発達に問題を抱えている児童も増加傾向にあり、保育補助員の必要性が求められる。 ・施設の老朽化が著しく、毎年、修繕費が発生する。老朽化に伴い、コンクリート片の剥離等の懸念もある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 学校教育法（昭和22年文部省令第11号） 幼稚園設置基準（昭和31年文部省令第32号） 色麻町幼稚園園則（昭和51年教育委員会規則第1号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	141	142	143	
			目標値	0			
	定義		色麻幼稚園園児数				
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 12	認定子ども園の開設に向け、現在子育て支援室で調整中。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	適正に管理運営されている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、管理運営は適正に行われている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	園長の管理のもと、適正に管理運営がなされている。

⑪	課長総括評価 園長の管理のもと適正に管理運営がなされている。
合計点 44	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		預かり保育事業（色麻幼稚園）				
	担当課・係名		色麻幼稚園				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	02 未来に羽ばたくチカラ	
		款	10 教育費		中分類	02 少子化社会への対応の充実	
		項	04 幼稚園費		小分類	02 保育事業の充実（重）	
目		01 色麻幼稚園費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		0	0	0	0	0
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
※事業費は幼稚園管理運営時事業で計上							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	色麻幼稚園園児						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	就労等による常時留守家庭や、一時的に養育できない家庭の園児の健全育成を図る。						
⑤	事業概要						
	幼稚園の登園前及び降園後において常時保護者がいないこと、又は一時的な理由により家庭での健全な養育に欠ける園児を希望により預かり、適切な遊び及び生活の場を与える等の指導を行う。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	共働き家庭の増加で、常時留守家庭や、一時的に養育できない家庭が増加傾向にある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町立幼稚園預かり保育の実施に関する条例（平成12年9月29日条例第26号） 色麻町立幼稚園預かり保育の実施に関する規則（平成12年9月29日教育委員会規則第2号）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位：人	実績値	82	78	0	
			目標値	0	60	0	
	定義	預かり保育を利用した人数					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	町で行うべき事業ではあるが、民間委託の可能性はある。共働き家庭が多いのでニーズが高い。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	目的達成のため有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 14	基本的に、効率性を求めるべき事業ではないが、経費の面では適正である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	共働き家庭の増加で、常時留守家庭や、一時的に養育できない家庭への支援が出来ている。

⑪	課長総括評価 合計点 47 今後の方向性	円滑に運営ができており、預かり保育は保護者からの需要も高い。きめ細かな指導や柔軟な指導体制ができている。 現状のまま継続
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--